

令和 8 年度事業方針

2025 年度の政治経済の情勢は国内外共に不安定要素が多く不確実性に満ちた状態が続き新しい年を迎えたという印象です。2026 年度（令和 8 年度）も国内政治では与党が圧勝し今後、政策課題の実現で揺れ、経済ではインフレとデフレのはざままで揺れ動くと推測する識者がおります。

そうした中で、法人事業は進路を間違わず今年度も「成長と充実」を旗印に邁進したいと考えております。

昨年 4 月に開設したコミュニティプラザは一もに一では、開設宣言で謳った「笑顔あふれる場所」の具現化に向けて取り組まなければなりませんし、就労系の障害福祉事業所においては、利用する方の、より一層の工賃アップに向け支援者が知恵を絞り、更なる QOL（生活の質）の向上に向けた努力が求められます。

また、第 1 種社会福祉事業の施設事業においても、家庭的養護に象徴されるように時代の要請に応え支援環境を整え、支援スキルの向上に向けて切磋琢磨し利用児童の幸せにつなげなければなりません。

法人事業全体を視野に入れた、DX(デジタルトランスフォーメーション)についても検討する時期が迫っているとの認識もあり、課題は山積みであります。

一方、時代は多様な人々が年齢や障がいの有無、あるいは住んでいる地域の差を超えて支え合い、それぞれが自分らしく生きることを目指す社会の構築、地域共生社会の実現に向けて種々の施策を講じ動き出しております。

私どもの法人も法人の利益の追求に加え、地域の振興にも大きく貢献できる社会福祉法人として注力しなければ、法人の求める成長には繋がらないと認識しております。

令和 8 年度は第 6 次中期事業計画 3 ヶ年の初年度になります。しっかりした目標を策定し、PDCA サイクル（計画・実行・評価・改善）を回転させ、全職員が「成長と充実」を念頭に入れ組織の活性化に向け、前に進みたいと願っております。